

別記様式第1号（第8条関係）

邑楽町協働のまちづくり活動支援事業補助金協議書

事業担当課 各位

申請に先立ち、協働のまちづくり活動支援事業補助金交付要綱第8条の規定により、申請内容の精査及び実施体制等、申請団体との協議をお願いします。協議後、協議結果に基づいて、申請団体に補助金申請書の作成又は申請内容の変更を依頼して下さい。

なお、協議終了後は、申請書の受理を行い予備審査を行ってください。

企画課 企画調整係

事業の名称	元気にみんなで早朝エクササイズ事業
申請団体名	邑楽町元気会

項目	申請事業内容のチェックポイント	
公益性・重要性・妥当性①	1. 現況の公的課題や住民ニーズに重要性や緊急性の観点から合致している事業であるか？ また、その解決策や活性化方法を記入して下さい。	
	課題設定 ・ニーズ	本町でも高齢化率が上昇傾向であり、高齢者の健康寿命の延伸は喫緊の課題である。
	解決策 活性化方法 (事業効果)	高齢者はもとより若いうちから健康的なからだづくりを行うことで、健康寿命の延伸に繋がることが期待される。
	2. 特定の者（団体構成員）など、一部の者（行政区は除く。）のみに利益が及ぶような事業となっていないか？	
	公益性	A：広く町民に開かれた事業      B：一部の者のみに利益が及ぶ恐れのある事業
	協議内容及び修正した事項	当該事業計画では、制限なく誰でも参加できるということなので、広く町民に開かれた事業であると考えられる。また、講師等も外部からの派遣のみ謝金対応を予定しているとのことなので、構成員との利害関係は発生しない。
	3. 地域課題の解決方法や活性化方法等、新たな視点の事業内容であるか？	
	新規・独自性	A：当てはまる      B：やや当てはまる      C：やや当てはまらない      D：当てはまらない
	協議内容及び修正した事項	地域住民との繋がりやコミュニティの醸成が期待されるとともに、世代を限定しない新たな視点だと考えられる。
	4. 申請事業内容は、既に町で実施している事業となっていないか。	

	独自性	A : 類似事業あり <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B : 類似事業なし</span>
	協議内容及び修正した事項	健康体操などの事業は町で推進しているが、当該事業は従来のラジオ体操やヨガ、ジョギングなど幅広い種類の事業を予定しているため類似事業はないと考えられる。
継続性・発展性・実現性②	5. 事業内容に照らして、実施体制、スケジュール、適正な予算など実現可能な事業が立案されているか。	
	実施体制	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A : 適正</span> B : 適正でない
	協議内容及び修正した事項	当該団体構成員に●●の資格保有者が▼名おり、有資格者が講師となり実施する予定のため、無理なく実施可能だと考えられる。
	スケジュール	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A : 適正</span> B : おおむね適正 C : 一部適正でない D : 適正でない
	協議内容及び修正した事項	当該事業は、月2回程度の実施予定であるため、実現可能な範囲であると考えられる。
	予算	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A : 適正</span> B : おおむね適正 C : 一部適正でない D : 適正でない
	協議内容及び修正した事項	補助金のほかに、会員協賛金や参加料を徴収予定であり、今後の自主運営についても期待ができる予算収入となっている。また、講師謝金なども妥当な金額だと考えられる。
	6. 予算（積算）は妥当であるが、町の手持ちの原材料や消耗品に提供できる物が含まれていないか。	
	原材料・消耗品	A : 含まれる <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B : 含まれない</span>
	協議内容及び修正した事項	予算支出予定項目では、町から提供できるものはない。
	7. 事業の発展性が見込まれ、他の団体等にも波及していくことが期待できるか？	
	発展性	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A : 当てはまる</span> B : やや当てはまる C : やや当てはまらない D : 当てはまらない
協議内容及び修正した事項	世代を限定しない事業であれば、どの地域や団体でも実施可能な事業だと考えられる。	

事業担当課・係名 福祉介護課・介護保険係

担当者名 呂楽 太郎 (内線           )

主管課長	補助金等 審査委員	課長補佐	係長	係

別記様式第1号（申請）

申請日を記入

令和8年5月6日

邑楽町長 橋本 光規 様

団体の所在地及び申請者  
(代表者)の氏名を記入

団体印を押印

申請者 住所 群馬県邑楽郡邑楽町中野2570-1

氏名 邑楽町元気会  
会長 邑楽 太郎



規約に記載されている呼称を記載  
例)この団体は「邑楽町元気会」という。

(団体の場合は住所、団体名、代表者の資格、氏名)

令和8年度補助金等交付申請書

令和8年度において、補助金等の交付を受けたいので、邑楽町補助金等に関する規則第3条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

「邑楽町協働のまちづくり活動支援事業」を  
事業名の前に入れて記入

記

どのような目的でどのような事業を行うかを  
簡潔に記入

1 補助事業等の名称	邑楽町協働のまちづくり活動支援事業 邑楽町健康元気教室 (〇〇事業) ←カッコ内は要綱該当事業種別を記入
2 補助事業等の目的 及び内容	町民の健康寿命を延ばすため、町内の公園等で健康体操を行う。
3 事業等の完了の予定 期日及び実施計画	令和8年6月1日から令和8年12月31日まで
4 交付申請額	50,000円
5 申請額の算出方法	別紙のとおり
6 補助事業等の経費の 配分及び使用方法	別紙のとおり
7 補助事業等の総事業費 と財源構成見込	<p>総事業費 110,000円</p> <p>町補助金 50,000円 国庫補助金 県補助金 他団体補助金 その他 自己負担金 60,000円</p>

事業の実施期間を記入(支出を開始する日から事業  
が終了する日又は支出が終了する日までを記入)

備考 補助金等の内容については、必要に応じて工事設計書・図面等を添付し、その

総事業費→事業にかかる総額を記入  
町補助金→4. 交付申請額を記入 <総事業費—町補助金=自己負担金>  
個人からの協賛金はその他、他の団体(例えば行政区)からの協賛金は他団体補助金へ算入

## 事業計画書

ふりがな	おうらまちげんきかい
団体名	呂楽町元気会
事業名	協働のまちづくり活動支援事業 呂楽町健康元気教室（地域福祉の充実及び地域住民の健康づくりに関する事業）
実施期間	令和8年6月1日 ～ 令和8年12月31日
事業の目的	昨今、高齢者社会においては健康寿命の延伸が求められている。
	また、健康は若い時からの生活習慣にも大きく関係している。
	そこで、呂楽町民の老若男女がだれでも参加できる早朝の時間帯に
	講師を招いて定期的にエクササイズを行う。
	今回の事業は、定期的なエクササイズを行うことで、いつまでも元気
	なからだでいられる習慣をつくることを目的とする。
事業内容	1. 事業実施場所
	おうら中央多目的広場
	2. 事業内容・方法
	月2回 第1・3月曜日 午前6時～
	第1月曜日は外部講師、第3月曜日は会員が講師となる
	内容：ラジオ体操、ヨガ、ストレッチ、ジョギング等
	3. 事業の対象者
	呂楽町民
	4. 目標又は期待される効果
	定期的な健康づくりの習慣を身につけることで、いつまでも元気に
	暮らせる町民が増えることを目標とする。また、介護負担の軽減や介護
	給付の抑制にも繋がることが期待される。

## 事業収支予算書

## &lt;収入&gt;

科 目	金 額 (円)	備 考
補助金交付申請額	(A) 50,000	協働のまちづくり活動支援事業
寄付金・協賛金	5,000	会員協賛金
事業収入(参加料等)	10,000	外部講師の回 参加料100円/人
自己資金	45,000	元気会会計
収入合計額	(B) 110,000	

## &lt;支出&gt;

科 目	総事業費 (円) ①	①のうち 補助対象経費 (円)	備 考
原材料費	10,000	10,000	参加者タオル代
通信運搬費			
燃料費 ※1			
保険料	10,000	10,000	参加者保険代
報償費 ※2	30,000	25,000	講師謝礼
使用料及び賃借料			
印刷製本費	40,000	40,000	チラシ等
食糧費 ※3	10,000	10,000	延100人お茶代
消耗品費	5,000	5,000	コピー用紙代
備品購入費 ※4			
事務費	5,000	5,000	記録写真代
その他			
支出合計額	(C) 110,000	(D) 105,000	

※1 燃料費の補助対象経費は、申請団体の構成員が提供する車両又は機械に係るものは除くこと。

※2 報償費の補助対象経費は、申請団体の構成員に支払うものは除くこと。また、当該補助対象経費は、講師等1人当たり日額1万円を限度とし、その総額は要綱別表に定める当該補助対象事業の補助金限度額（以下「補助金限度額」という。）の2分の1に相当する額を限度とする。

※3 食糧費の補助対象経費は、参加者1人当たり500円を限度とし、その総額は補助金限度額の2分の1に相当する額を限度とする。

※4 備品購入費の補助対象経費は、安全で安心な地域づくりに関する事業に係るものに限る。また、その総額は、補助金限度額の2分の1に相当する額を限度とする。

~~~~~  
担当課処理欄

|              |   |                          |
|--------------|---|--------------------------|
| 収入合計額 (B)    |   | 総事業費支出額 (C)              |
| 110,000 円    | = | 110,000 円                |
| 補助金交付申請額 (A) |   | 総事業費支出額のうち補助対象経費 (円) (D) |
| 50,000 円     | ≦ | 105,000 円                |

※ (A) は5万を上限とする。

|      |              |      |    |   |
|------|--------------|------|----|---|
| 主管課長 | 補助金等<br>審査委員 | 課長補佐 | 係長 | 係 |
|      |              |      |    |   |

別記様式第3号（実績報告）

提出日を記入：  
事業終了後1月以内又は令和7年度末のいずれか早い日までに提出

令和9年1月10日

邑楽町長 橋本 光規 様

団体の所在地及び申請者  
(代表者)の氏名を記入

団体印を押印

申請者

住所 群馬県邑楽郡邑楽町中野2570-1

団体名 邑楽町元気会

氏名 会長 邑楽 太郎

規約に記載されている呼称を記載  
例)この団体は「邑楽町元気会」という。

(団体の場合は住所、団体名、代表者の資格、氏名)



令和8年度補助金等事業実績報告書

令和●年●月●日付け邑楽町指令総第●●号をもって補助金等の交付の決定通知を受けた事業が完了したので、邑楽町補助金等に関する規則第13条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

交付決定通知に記載されている通知日を記入

交付決定通知に記載されている交付番号を記入

|                       |                                                         |          |
|-----------------------|---------------------------------------------------------|----------|
| 1 補助事業等の名称            | 邑楽町協働のまちづくり活動支援事業<br>邑楽町健康元気教室 (〇〇事業) ←カッコ内は要綱該当事業種別を記入 |          |
| 2 補助事業等の経費の配分及び使用の精算額 | 別紙のとおり                                                  |          |
| 3 補助事業等の実施期間          | 令和8年6月1日から令和8年12月31日まで                                  |          |
| 4 補助事業等の成果            | 別紙のとおり                                                  |          |
| 5 補助事業等の総事業費と財源構成額    | 総実施事業費                                                  | 110,000円 |
|                       | 町補助金                                                    | 50,000円  |
|                       | 国庫補助金                                                   |          |
|                       | 自己負担金                                                   | 60,000円  |

例) 交付決定通知に記載されている通知日と最後に取引した領収書の日付を記載

備考 補助金等の成果については、必要に応じて工事設計書・図面等を添付し、その

総事業費→事業にかかる総額を記入

町補助金→交付決定額を記入 <総事業費—町補助金=自己負担金>

※ 個人からの協賛金はその他、他の団体（例えば行政区）からの協賛金は他団体補助金へ算入

## 団体の構成員名簿

団体名  邑楽町元気会 

| No | 氏 名                                                                 | 住 所<br>(町内在住者は大字から記入可) | 職 業  | 年 齢 |
|----|---------------------------------------------------------------------|------------------------|------|-----|
| 1  | 邑楽 太郎                                                               | 邑楽町中野10                | 無職   | 50  |
| 2  | 中野 次郎                                                               | 邑楽町中野20                | 会社員  | 60  |
| 3  | 篠塚 花子                                                               | 邑楽町篠塚30                | 団体職員 | 30  |
| 4  | 秋妻 一郎                                                               | 邑楽町秋妻40                | 教員   | 40  |
| 5  | 館林 城美                                                               | 館林市城町10                | 学生   | 20  |
| 6  | 団体の構成員は5人以上且つその半分以上が邑楽町民である必要があります。ここでは、5人のうち1人だけ町外者なので、要件に該当しています。 |                        |      |     |
| 7  |                                                                     |                        |      |     |
| 8  |                                                                     |                        |      |     |
| 9  |                                                                     |                        |      |     |
| 10 |                                                                     |                        |      |     |
| 11 |                                                                     |                        |      |     |
| 12 |                                                                     |                        |      |     |
| 13 |                                                                     |                        |      |     |
| 14 |                                                                     |                        |      |     |
| 15 |                                                                     |                        |      |     |
| 16 |                                                                     |                        |      |     |
| 17 |                                                                     |                        |      |     |
| 18 |                                                                     |                        |      |     |
| 19 |                                                                     |                        |      |     |
| 20 |                                                                     |                        |      |     |

※記入欄が不足の場合は増刷してください。

## 事業報告書

|                                  |                                                        |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------|
| ふりがな                             | おうらまちげんきかい                                             |
| 団体名                              | 邑楽町元気会                                                 |
| 事業名                              | 協働のまちづくり活動支援事業<br>邑楽町健康元気教室（地域福祉の充実及び地域住民の健康づくりに関する事業） |
| 実施期間                             | 令和8年6月1日 ～ 令和8年12月31日                                  |
| 事業の成果                            | 今回、高齢者から若い世代まで多くの参加があった。段々と参加人数                        |
|                                  | も増え、毎回参加する顔ぶれも増えた。多様なエクササイズを行った                        |
|                                  | ことで、参加者も飽きることなく体を動かすことができ、終了後も自主                       |
|                                  | 的に更なる運動をする参加者も多く見られた。                                  |
| 事業内容                             | 1. 事業実施場所                                              |
|                                  | おうら中央多目的広場                                             |
|                                  | 2. 事業内容・方法                                             |
|                                  | 月2回 第1・3月曜日午前6時～計12回（2回天候により中止）                        |
|                                  | 講師 オウラヨガ教室〇〇氏、アケノジョギング協会●●氏                            |
|                                  |                                                        |
|                                  |                                                        |
|                                  | 3. 事業の対象者                                              |
|                                  | 邑楽町民 延べ200人                                            |
|                                  |                                                        |
|                                  | 4. 活動の反省や課題                                            |
|                                  | エクササイズの内容によって、高齢者がやりにくい運動があったので                        |
| 改善していきたい。また、参加者の中でも講師ができそうな方がいたの |                                                        |
| で、今後一緒に活動出来る人を募り広く展開していきたい。      |                                                        |
|                                  |                                                        |

## 事業収支決算書

## &lt;収入&gt;

| 科目         | 金額 (円)      | 備考             |
|------------|-------------|----------------|
| 補助金交付申請額   | (A) 50,000  | 協働のまちづくり活動支援事業 |
| 寄付金・協賛金    | 5,000       | 会員協賛金          |
| 事業収入(参加料等) | 10,000      | 講師の回 参加料100円/人 |
| 自己資金       | 45,000      | 元気会会計          |
| 収入合計額      | (B) 110,000 |                |

## &lt;支出&gt;

| 科目       | 総事業費 (円) ①  | ①のうち<br>補助対象経費 (円) | 備考       |
|----------|-------------|--------------------|----------|
| 原材料費     | 10,000      | 10,000             | 参加者タオル代  |
| 通信運搬費    |             |                    |          |
| 燃料費 ※1   |             |                    |          |
| 保険料      | 10,000      | 10,000             | 参加者保険代   |
| 報償費 ※2   | 30,000      | 25,000             | 講師謝礼     |
| 使用料及び賃借料 |             |                    |          |
| 印刷製本費    | 40,000      | 40,000             | チラシ等     |
| 食糧費 ※3   | 10,000      | 10,000             | 延100人お茶代 |
| 消耗品費     | 5,000       | 5,000              | コピー用紙代   |
| 備品購入費 ※4 |             |                    |          |
| 事務費      | 5,000       | 5,000              | 記録写真代    |
| その他      |             |                    |          |
| 支出合計額    | (C) 110,000 | (D) 105,000        |          |

※1 燃料費の補助対象経費は、申請団体の構成員が提供した車両又は機械に係るものは除くこと。

※2 報償費の補助対象経費は、申請団体の構成員に支払ったものは除くこと。また、当該補助対象経費は、講師等1人当たり日額1万円を限度とし、その総額は要綱別表に定める当該補助対象事業の補助金限度額（以下「補助金限度額」という。）の2分の1に相当する額を限度とする。

※3 食糧費の補助対象経費は、参加者1人当たり500円を限度とし、その総額は補助金限度額の2分の1に相当する額を限度とする。

※4 備品購入費の補助対象経費は、安全で安心な地域づくりに関する事業に係るものに限る。また、その総額は、補助金限度額の2分の1に相当する額を限度とする。

## 担当課処理欄

|              |   |                      |  |
|--------------|---|----------------------|--|
| 収入合計額 (B)    |   | 総事業費支出額 (C)          |  |
| 110,000 円    | = | 110,000 円            |  |
| 補助金交付申請額 (A) |   | 総事業費支出額のうち補助対象経費 (円) |  |
| 50,000 円     | ≦ | (D) 105,000 円        |  |